



## 学校教育目標

目標に向かって挑戦する、強くしなやかな心を持った人を育む

## スクール・ミッション

- ・地域との連携・協働等を通じて、地域の課題に向き合い、解決するために必要な資質・能力を身に付けた生徒の育成
- ・個々の生徒の特性等に対応した学習指導及びキャリア教育を通じて、主体的な進路の選択決定をするための資質・能力を身に付けた生徒の育成
- ・チャレンジ精神を持ち、想像力・創造力を発揮し、持続可能な社会の実現に向け、思考を深める生徒の育成
- ・変化する社会に対応するため、広い視野を持ちながら多様性を認め、他者と協働し、共生しようとする生徒の育成

## スクール・ポリシー

- 育成を目指す資質・能力に関する方針
  - ・育成をめざす5つの資質・能力 = 「課題発見力」「思考力」「協働力」「表現力」「自己教育力」
  - ・「広い視野と教養を備え、地域社会の持続的な創造発展に貢献する」「目標に向かって自ら挑戦する」「心と体を鍛え、明朗で前向きに多様性を大切に共生できる」生徒像をめざし、5つの資質・能力を育成する。
  - ・総合的な探究の時間を軸に各教科・科目、特別活動等、すべての学校教育活動において5つの資質・能力の育成を目指す。
- 教育課程の編成及び実施に関する方針
  - ・「管内唯一の商業科」の伝統を汲むキャリアビジネス・コースと進学をめざすアドバンス・コースによる多様な進路希望の実現
  - ・総合的な探究の時間や教科・科目等における、自ら課題を設定し探究する学びや協働的な学びの推進
  - ・地域を学びの場とし、地域の教育資源を活用した学びの推進
- 入学者の受入れに関する方針
  - ・学習に対して明確な目標を持ち、主体的に学ぼうとする意欲のある生徒
  - ・何らかの活動に積極的に取り組み、その活動をより一層充実させようとする意欲のある生徒

領域	対象	今年度の重点目標	目標達成のための評価の観点
教育活動	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別最適な学びと協働的な学びの実現</li> <li>・ICTの活用による授業の深まりと効率化</li> <li>・単元テストを通じた指導と評価の一体化</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①基礎基本の確実な習得と定着を図るため、個に応じた効果的な指導がなされたか</li> <li>②家庭学習の定着と、学力が向上した実感を持たせる指導がなされたか</li> <li>③授業において多様な他者と協働する学習活動が取り入れられたか</li> <li>④単元テストの結果を機動的に授業改善や個別の補充指導に反映できたか</li> </ol>
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様性を認め合う協働的な集団の形成と活動の支援・指導</li> <li>・良識ある自立した成人の育成</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①対人関係能力の育成と集団の成長に焦点を当てた指導・支援がなされたか</li> <li>②日常的な指導を粘り強く継続し、規範意識を育てることができたか</li> </ol>
	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己理解の深まりとキャリア教育の充実</li> <li>・進路実現に向けた組織的な取組と保護者等との連携</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①講習、模試等に積極的かつ持続的に取り組ませるとともに、3年間を見通して個に応じたきめ細かな指導がなされたか</li> <li>②保護者等に進路選択に係る情報提供が適切になされ、連携体制を構築できたか</li> </ol>
	健康・安全指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心・安全な集団づくりと教育相談体制の充実</li> <li>・外部機関と連携した「チーム富高」による生徒支援</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①日頃の声かけや個人面談、スクールカウンセラーの活用等により生徒理解がなされたか</li> <li>②家庭や専門機関と連携しながら、生徒にとって望ましい支援を行うことができたか</li> </ol>
学校運営	信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、保護者、地域、中学校から信頼される学校づくりの推進</li> <li>・地域との連携・協働による教育課程の実現</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①学校の教育活動や生徒の取組、学習成果等保護者や地域へ積極的に情報発信ができたか</li> <li>②自己評価や学校関係者評価等が適切に行われ、改善につながったか</li> </ol>
	組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機動的協働的な組織運営による活性化</li> <li>・教育活動の質の向上と、持続可能な働き方の両立</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①報告・連絡・相談が徹底され、目標や情報の共有化がなされたか</li> <li>②教職員が相互に連携し、生徒と向き合う時間を確保するための協働体制が構築できたか。</li> </ol>
	教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育のプロとしての指導力の向上</li> <li>・生徒支援教育の充実</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①充実した校内研修、自己啓発や各種研修会への積極的な参加がなされたか</li> <li>②あらゆる機会を活用して、全職員が情報を共有し、危機管理意識を高められたか</li> </ol>